

**A** ふるさと納税については、物産以外も考慮した特典品の充実や効果的なPRを行うとともに、寄せられたクレームを克服し、リピーターになっていただくための努力をしたい。また、企業に対するアプローチを進めるとともに、全国に1,000人いる大村ポートのVIP会員へのパンフレットの送付や、本市出身者等の会合におけるパンフレット等の配布など、新規寄附者の獲得に向け、しっかりと取り組みたい。

### 市制75周年事業について

田中 秀和 議員



昭和17年2月11日の市制施行から、来年2月には75周年、三四半世紀を迎える。市民が期待するイベントなどの記念事業の実施はどうなるのか。また、市主催や民間主催の事業への冠づけはどのように予定しているのか。また、今回交代されたようだが、「大村市顧問」として、永年ご尽力いただいた方に対する感謝の方法を検討すべきだと思うがどうか。

**A** 市制75周年の記念事業については、大相撲大村場所を

予定しており、冠づけを行う事業は予定していない。また、大村市顧問については、感謝の意をお伝えすべきだと考えており、今後市政功労者表彰の中で、表彰項目の新設なども含めて検討したい。

### 大村市の民力について

田中 秀和 議員



朝日新聞社が毎年発表する「その地域に住む人々の生活や暮らしのエネルギーを示す」民力指数では、全国平均を100として、本市の一人当たりの民力水準は、81.5となっている。県内他市と比較しても、最低水準である。大村市民のエネルギーがこのように低く評価されているのを見ると、過することはできない。何とか民力水準を引き上げる努力が必要だと思うが、感想と見解を尋ねる。

**A** 朝日新聞社発行の「民力2015」に対する感想等については、大村市の弱みを克服していく政策も必要であるが、強みを生かして人口をふやしていく取り組みによって、住みやすいまち大村として、発展させていきたい。

### 地縁団体の認可行政における裁判での対応

村上 信行 議員



市長の認可を得たら、町内会が所有する不動産を町内会名義で登記することができるよう、法律改正がなされた。市長の認可から22年経過したが、裁判において、登記することができない私有財産との判決が下され、また、今回、認可を取り消すための聴聞会の調書作成が違法だとして、司法の場で争うこととなった。行政の対応が問われるという、全国的にもまれな争いに対し、どのような対応策をとるのか。

**A** 地縁団体の認可については、繰り返し答弁をしているとおり、認可要件が満たされていたため認可しており、土地所有の問題とは分けて考えている。今の地域が円滑に活動できることが重要だと考えており、解決に向けて努力をしている。



### 「天正少年使節」のドラマ化をチャンスに

村崎 浩史 議員



Amazon社が提供しているプライム動画において、天正遣欧少年使節を題材としたドラマ「MAGI天正少年使節と世界帝国」を製作し、2017年夏に公開予定であると発表された。ヒットドラマを多数手掛けている鎌田敏夫氏の脚本で、作品への期待は大きい。本市のシティブロモーションを推進する上で、同作品との連携・協力を検討してはどうか。

**A** 現在、「MAGI天正少年使節と世界帝国」についての情報収集や調査を進めており、市としても積極的に支援したいと考えている。また、西海市や雲仙市など、天正遣欧少年使節ゆかりの地の自治体にも呼びかけており、何を支援できるのかを含め、調査研究を進めたい。

